

# 平成29年度生涯研修企画のご案内



九州会企画生涯研修は、税務・法律・会計・経営の各分野から一流の講師をお迎えして、九州会各支部で開催されます。積極的に受講して履修時間54時間を達成しましょう。

# 生涯研修を履修して事務所総合力アップにつなげましょう！

TKC九州会研修所長 有田貴治

「TKC会計人の基本理念（25項目）」第7項で「TKC会計人は、事務所の体質改善と業務の品質管理とに最重点を指向されているので、所長と職員の研修参加を、強く要請される集団である。」とされています。また、TKC全国会の「TKC会計人の行動基準書（第4版）」では、第2章倫理規定2-7において「会員は、関与先の永続的な発展を願い、業務の完璧な遂行を決意して、生涯を通じて不断に高度な専門的能力の錬磨に努めなければならない」として、生涯研修（初年度90時間、次年度54時間）への参加を求めています。

TKC会計人には税務以外に期待される業務の裾野は広く、クライアントとの間に、継続的な税務や会計の顧問契約をしている中で、経営等の総合的なアドバイザーと考えられていることも多いと言えます。つまり、単に税務や会計だけの顧問ではなく、経営上の様々な分野の問題に精通し、解決への助言をすることをクライアントは期待しています。このような期待に応じてこそ「TKC会計人」の存在意義があるのではないのでしょうか。そこで、TKC九州会研修所では生涯研修をいくつかの 카테고リーに分類し、そのカテゴリーごとに講師を厳選し研修を企画しております。

さて、平成29年度の生涯研修は7月21日に福岡で開催する開講式を皮切りに、全10回を開催します。また、これらの他に「巡回監査レベルアップ講座2017」など、会員先生方や職員の皆様方へ実務に役立つ様々な研修を企画運営して参ります。生涯研修を積極的に受講して頂くことにより「事務所総合力アップ」の一助になればと考えております。

## 九州会企画生涯研修がはじまります！

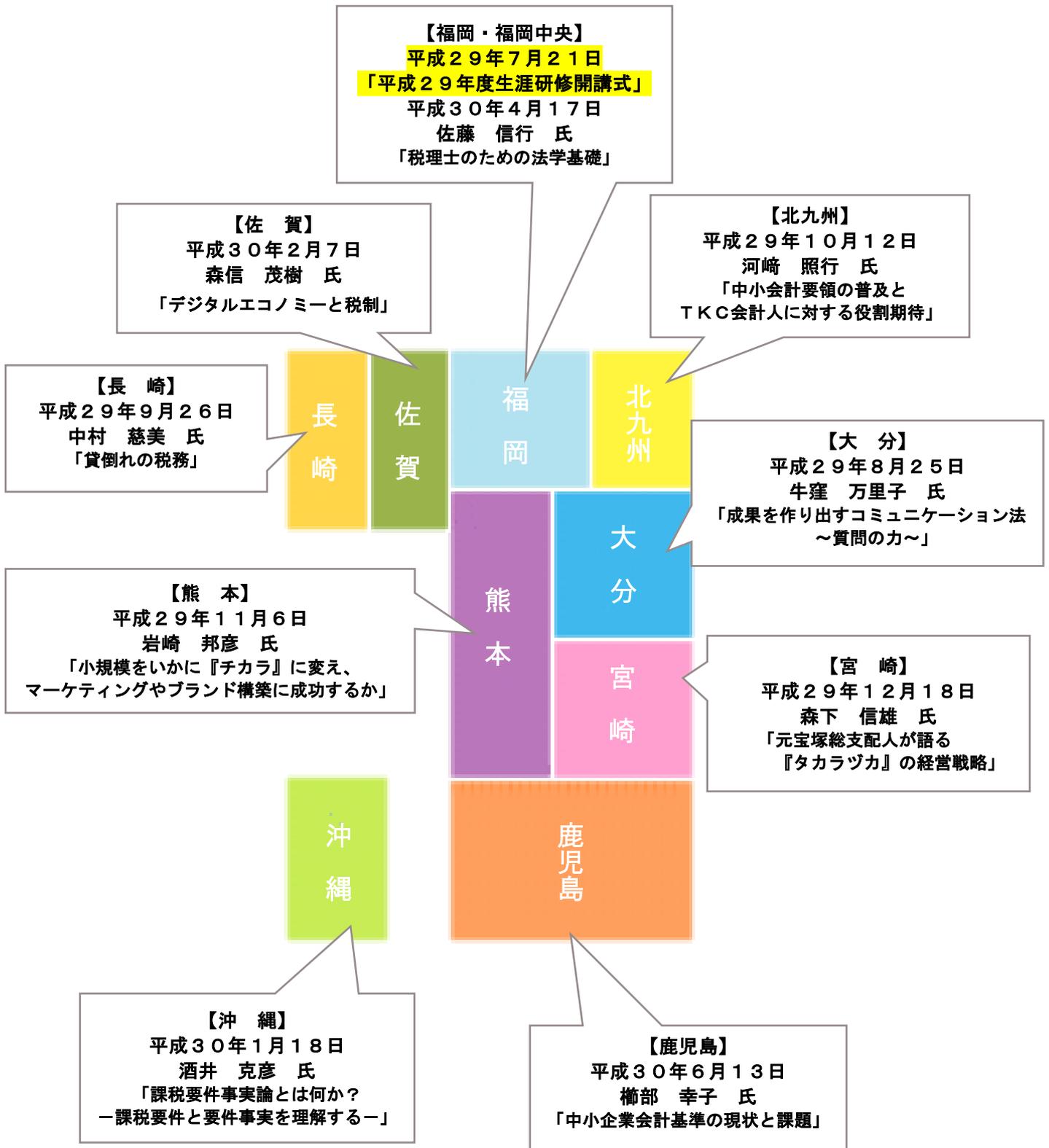
生涯研修企画小委員長 山崎 潤子

飯塚毅名誉会長は、『90時間研修の意味するもの』（TKC研修所研修ガイドライン）の中で、「ドイツ税理士法が規定しているように、税理士は、国家と社会とから、尊敬され信頼されることを行動で示す責任があります。アメリカやイギリスの職業会計人は、公共の高い評価を勝ち取る対価として、生涯教育の強制体制を作りました。時代が急速に変化しつつありますので、かつて、高度の試験に合格したことがある、という歴史的事実だけによっては、われわれの生活と権威とは、守り切れなくなりました。」と述べられています。時代の急速な変化の中で、我々税理士が高度な専門性と社会からの強固な信頼を得る為には、生涯教育体制を確立し、継続的に学び続けることが必要であると強く訴えられているのです。税理士会においても、36時間受講が義務付けられるなど、研修受講の重要性がますます高まっています。

平成29年度も、一流の講師陣をお迎えし、多様化する社会からのニーズに応えるべく、税務・法律・会計・経営など各分野を網羅した研修体系となるよう企画しております。また、TKCの研修を受講することで税理士会の受講時間に算入できるよう、研修の認定申請も積極的に進めております。

是非、生涯研修を継続して受講下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。

# 研修会開催マップ



平成29年度の生涯研修は、福岡からスタートします！

# 平成 29 年度 T K C 九州会生涯研修開講式

この研修は、オンデマンド配信はございません。  
是非、会場へお越しください！！

日時：平成29年7月21日(金) 10:30～16:00

会場：ANAクラウンプラザホテル福岡

(福岡市博多区博多駅前3丁目3-3-3)



午 前

第1講義 講師：増田 英敏氏  
(専修大学 教授・弁護士・法学博士)

「リーガルマインドを身につけよう  
～最新判例を題材として～」



午 後

第2講義 講師：落合 寛司 氏  
(西武信用金庫 理事長)

「金融機関から見た税理士の生き残り戦略」

## 各支部で開催の研修

研修は後日期間限定でオンデマンド配信いたします。(スケジュールは6ページ)

福岡・福岡中央

研修会開催日：平成30年4月17日



【研修テーマ】法律

### 税理士のための法学基礎

【研修のポイント】

「法を学ぶとは、細かい実定法を暗記することなどではなく、Legal Mindの獲得である」と言われますが、「Legal Mind」の正体は何なのでしょう？

この研修では、法システムの成り立ちからこの問題を考えます。

中央大学大学院 法務研究科  
教授

佐藤 信行 氏

【佐藤信行氏ほか編著】『要約憲法判例 205』（編集工房球）

『はじめて出会うカナダ』（有斐閣）

北九州

研修会開催日：平成29年10月12日



【研修テーマ】会計

### 中小会計要領の普及とTKC会計人に対する役割期待

【研修のポイント】

本研修の目的は、「中小企業の会計に関する基本要領」（中小会計要領）について、その内容と活用方法を平易に解説し、中小会計要領の普及に対するTKC会計人の役割を論じることにあります。

甲南大学共通教育センター  
教授

河崎 照行 氏

【著書】『最新 中小企業会計論』（中央経済社）

『中小企業の会計制度 日本・欧米・アジア・オセアニアの分析』（中央経済社） 他

佐賀

研修会開催日：平成30年2月7日



【研修テーマ】税制

### デジタルエコノミーと税制

【研修のポイント】

グローバルなデジタルエコノミーの広がり、国家主権のもとに構築され社会保障、防衛などの公共サービスの財源確保を目指す税制との相性が悪いが、これをどうバランスさせていくのか、EUやOECDなどの検討も含めて解説したい。また、ネットワークワーカーなどの増加は、働き方改革として前向きにとらえられている一方、所得区分や所得把握、社会保険の問題を生じさせており、これらの税制の課題や対応を議論したい。

中央大学大学院 法務研究科  
教授

森信 茂樹 氏

【著書】『税で日本はよみがえる』（日本経済新聞出版社）

『未来を拓くマイナンバー』（中央経済社） 他



【研修テーマ】法律

## 貸倒れの税務

【研修のポイント】

貸倒損失については、事実認定に負うところが大きいことから、通達にその取扱いが定められているものの、その具体的な判断が難しく、また、貸倒引当金制度の適用が制限されていることや消費税率の引上げが予定されていること等を考慮すると、その制度の理解と適用の可否が重要と考えます。

本研修では、「貸倒れの税務」として、貸倒損失の取扱いを中心に、関連する子会社等に対する支援やデットエクイティスワップを含む債権譲渡の取扱いについても理解を深めるため、具体的な事例を基に、根拠となる判決、裁決、各種資料を提示して解説します。また、関連するグループ法人税制の取扱いについても触れることにします。

【著書】『貸倒損失・債権譲渡の税務処理早わかり』（大蔵財務協会）

『図解 グループ法人課税』（大蔵財務協会）他

税理士

中村 慈美 氏



【研修テーマ】経営助言（マーケティング）

## 小規模をいかに「チカラ」に変え、 マーケティングやブランド構築に成功するか

【研修のポイント】

我が国の企業の99.7%が中小企業。地域経済が元気になるためには、小さな企業が元気になる必要がある。小さな企業は、小規模であることを嘆くのではなく、「小規模の強み」を生かすという発想が欠かせない。

「量」から「質」へ、「総合」から「専門」へ、といった時代のトレンドは、小さな企業にとって追い風だ。ポイントは、その追い風をいかに現実のチカラに変えるかである。本研修では、全国の消費者調査、経営者調査をベースに、小さな会社を強くするマーケティングとブランド構築の「羅針盤」を提示したい。

【著書】『引き算する勇気：会社を強くする逆転発想』（日本経済新聞出版社）

『小さな会社を強くするブランドづくりの教科書』（日本経済新聞出版社）他

静岡県立大学 経営情報学部 教授  
学長補佐  
地域経営研究センター センター長

岩崎 邦彦 氏



【研修テーマ】コミュニケーション

## 成果を作り出すコミュニケーション法 ～質問の力～

【研修のポイント】

コミュニケーションの成果とは、相手の価値基準（何を大切にしたいか）を把握し、信頼関係を築くこと。研修のポイントは、コミュニケーションの違いとは何か、信頼関係を築くためのステップ、相手の価値観を導き出す質問法など。

【著書】『初対面の相手もおもわず本音をもらすアナウンサーの質問レシピ』（総合法令出版社）

『仕事ができる人は「声」が違う！』（すばる舎）他

元NHKキャスター  
コミュニケーションアドバイザー

牛窪 万里子 氏



【研修テーマ】経営

## 元宝塚総支配人が語る『タカラヅカ』の経営戦略

【研修のポイント】

タカラヅカは「女が男を演じる」という超ニッチな世界観で、「シロウトの神格化」というべき独特のポジショニングを着々と固めつつ、ファンコミュニティの自己関与性を深めるブランド戦略です。「創って作って売る」一気通貫の垂直統合型ビジネスシステムを駆使して、今や阪急グループ事業の「第3の柱」と称されるまでに成長した背景には、企業経営のヒントになる話が満載です。

【著書】『元・宝塚総支配人が語る「タカラヅカ」の経営戦略』（角川新書）

元宝塚総支配人

森下 信雄 氏



【研修テーマ】会計

## 中小企業会計基準の現状と課題

【研修のポイント】

本講義では、我が国における最新の中小企業会計基準の状況を述べ、なぜこのような状況であるのかを明らかにする。さらに国内のみならず海外にも目を向け、中小企業向け国際会計基準（IFRS for SMEs）や我が国と同じ動きを見せる韓国・アメリカの状況を取り上げる。そこで、中小企業にとってどのような会計基準が必要であるのかを検討する。

【著書】『中小企業会計基準の課題と展望』（同文館出版）

鹿児島国際大学 経済学部  
講師

櫛部 幸子 氏



【研修テーマ】法律

## 課税要件事実論とは何か？

### －課税要件と要件事実を理解する－

【研修のポイント】

実務をするときに、皆さんは、課税要件をどれほど意識しているでしょうか？

課税要件を知り、要件事実を知ることで、不安定で不明確だった税務処理を確固たるものにしましょう。

【著書】裁判例からみる法人税法（大蔵財務協会）

税理士業務に活かす！ 通達のチェックポイント（第一法規） 他

中央大学 商学部  
教授

酒井 克彦 氏

## 平成29年度生涯研修オンデマンド配信予定

行	研修開催日	オンデマンド 配信予定	研修名	講師	時間
1	平成29年8月25日	平成29年9月11日 ～ 平成29年12月10日	成果を作り出すコミュニケーション法 ～質問の力～	牛窪 万里子 氏	1.5
2	平成29年9月26日	平成29年10月16日 ～ 平成30年1月15日	貸倒れの税務	中村 慈美 氏	3.0
3	平成29年10月12日	平成29年10月30日 ～ 平成30年1月29日	中小会計要領の普及とTKC会計人に対する 役割期待	河崎 照行 氏	2.5
4	平成29年11月6日	平成29年12月4日 ～ 平成30年3月3日	小規模をいかに「チカラ」に変え、 マーケティングやブランド構築に成功するか	岩崎 邦彦 氏	3.0
5	平成29年12月18日	平成30年1月4日 ～ 平成30年4月3日	元宝塚総支配人が語る 『タカラヅカ』の経営戦略	森下 信雄 氏	1.5
6	平成30年1月18日	平成30年2月5日 ～ 平成30年5月7日	課税要件事実論とは何か？ －課税要件と要件事実を理解する－	酒井 克彦 氏	3.0
7	平成30年2月7日	平成30年2月26日 ～ 平成30年5月25日	デジタルエコノミーと税制	森信 茂樹 氏	2.0
8	平成30年4月17日	平成30年5月7日 ～ 平成30年8月6日	税理士のための法学基礎	佐藤 信行 氏	3.0
9	平成30年6月13日	平成30年7月2日 ～ 平成30年10月1日	中小企業会計基準の現状と課題	櫛部 幸子 氏	3.0

**合 計 22.5 時間**

※研修開催日より概ね2週間後の配信を基本としておりますが、予定を変更する場合がございます。  
あらかじめご了承ください。